

① [1] (1) $\frac{9}{7}$ (2) $\frac{7}{4}$ (3) 5070 (4) 113

(5) ① 42 ② 4 ③ 20

② (1) 17 (cm) (2) $\frac{1183}{24}$ (cm³) (3) 13 (cm)

③ (1) 25:21 (2) 10500 (m) (3) 350 (m)

④ (1) 225 (個) (2) 331 (個) (3) 405 (個)

⑤ (1) 5, 10, 15, 20, 30

(2) 5で割った余りを考える。

「良い選び方」となるのは、残りの3つの数が

① 余りが4の数が1つで、さらに

② 余りが0の数が2つ

のときである。

①の選び方は5通り、②の選び方は15通り

よって、残りの3つの数の組は

$$5 \times 15 = 75$$

(答) 75 (組)

(3) 5で割った余りを考える。

「良い選び方」となるのは、6つの数が

(ア) 余りが0の数が6つ

(イ) 余りが1の数、4の数、0の数が2つずつ

(ウ) 余りが2の数、3の数、0の数が2つずつ

のときである。

(ア)は1組

$$(イ)は 21 \times 15 \times 15 = 4725 \quad 4725 \text{ 組}$$

$$(ウ)は 15 \times 15 \times 15 = 3375 \quad 3375 \text{ 組}$$

以上より、

$$1 + 4725 + 3375 = 8101 \quad (\text{答}) \quad 8101 \text{ (組)}$$